

2016年7月22日

各位

J A三井リース株式会社

再生可能エネルギーファンドを活用した当社初の地熱発電向け投資について  
～スパークス・グループと共同で実現～

当社は、2015年10月30日付のプレスリリースにおいて、スパークス・グループ株式会社と共同で投資事業有限責任組合を組成し投資を開始した旨を発表いたしました。このたび鹿児島県指宿市において地熱発電事業向けの投資を開始することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

■ 投資対象となる発電施設の概要

事業体	SGET 指宿地熱発電合同会社
発電所名	SGET 指宿第1発電所（仮称） SGET 指宿第2発電所（仮称）
発電形態	地熱発電所（新設）
所在地	鹿児島県指宿市
出力規模	1.176MW（588kW×2）
総事業費	約21.5億円（予定）
運転開始時期	2018年12月（第1発電所）（予定）



完成イメージ図

■ 当該投資案件は、当社が取り組む再生可能エネルギー発電への投融資事業において初となる地熱発電所への投資となります。

➤ 地熱発電は、再生可能エネルギーの中でもとりわけ安定的な発電が可能で、ベース電源になりうる発電です。日本は地熱資源量が世界第3位であるにも関わらず、地熱発電の導入量は極めて低く、今後の拡大が期待されている発電方式です。

➤ 本地熱発電は、既存の温泉井戸よりもさらに深い深度（約 1,000～1,500m）から 150℃程度の蒸気を取り出し、その熱を活用して低い沸点の媒体を循環させるバイナリー発電方式で、媒体には暴露しても人体へ危険のない代替フロンを用います。また地下に熱水を還元するため、周辺の温泉資源が枯渇する心配はありません。

➤ 発電後の熱は隣接する農業ハウス等へ供給することで地元の農林水産業と連携し、地域経済の発展に寄与します。

■ 当社は、今後も地域の特性にあった産業と再生可能エネルギーを結び付け、当社グループ経営理念「Real Challenge, Real Change」で掲げる“より良い社会と未来”の実現を目指してまいります。

■ 関連プレスリリース

2015年10月30日「JA三井リース、スパークス・グループ、全国の再生可能エネルギー発電事業への投資を開始、農林水産業と連携した熱利用も視野に」

[http://www.jamitsuilease.co.jp/news/pdf/20151030\\_1.pdf](http://www.jamitsuilease.co.jp/news/pdf/20151030_1.pdf)

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

経営企画部 広報IR室 電話：03-6775-3002